

小学校 国語

令和6年度
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する問題、学校のよさを紹介する文章の空欄に入る内容を取材メモを基にして書く問題、物語を読んで心に残ったところとその理由を書く問題などが出題されています。

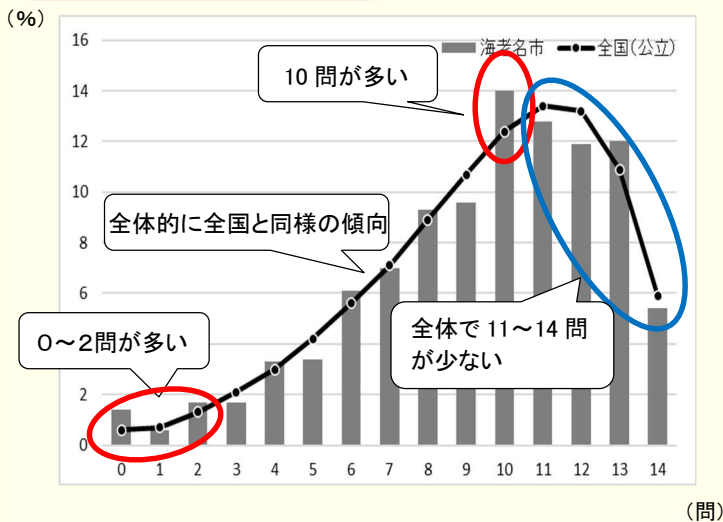
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	67.2%	67.0%	67.7%	-0.5
平均正答数	9.4 問 /14 問	9.4 問/14 問	9.5 問 /14 問	-0.1

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率

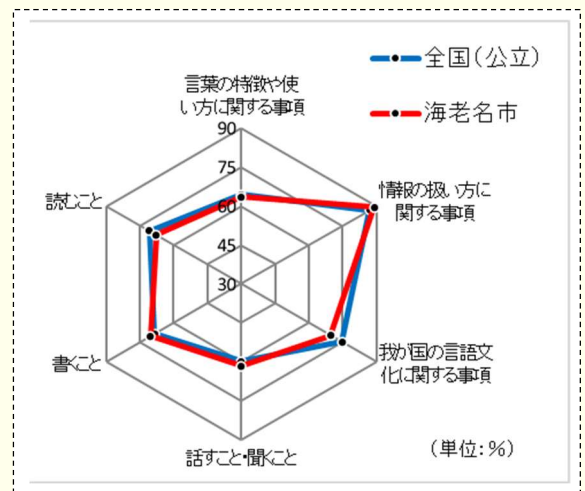
正答数分布グラフ

（横軸：正答数，縦軸：割合）



- * 正答率 50%以下(正答数 0～7 問)の児童の割合は、全国と比較してやや上回っています。
- * 正答率 80%以上(12～14 問)の児童の割合は、全国と比較してやや下回っています。

学習指導要領の領域等の平均正答率



- * 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において、全国と比較して上回っています。
- * 「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」の領域においては、全国と比較して下回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題 数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国 (公立)	全国との 比較	海老名市	全国 (公立)	全国との 比較
学習 指導 要領 の領 域等	言葉の特徴や使い方に 関する事項	4問	63.5	64.4	-0.9	7.1	6.0	1.1
	情報の扱い方に 関する事項	1問	89.0	86.9	2.1	1.6	3.3	-1.7
	我が国の言語文化に 関する事項	1問	69.5	74.6	-5.1	14.8	2.1	12.7
	話すこと・聞くこと	3問	61.6	59.8	1.8	1.6	4.8	-3.2
	書くこと	2問	70.2	68.4	1.8	2.4	6.0	-3.6
	読むこと	3問	67.7	70.7	-3.0	9.0	6.0	3.0
問題 形式	選択式	10問	70.1	69.9	0.2	4.1	2.0	2.1
	短答式	2問	57.5	59.7	-2.2	11.1	10.6	0.5
	記述式	2問	62.4	64.6	-2.2	9.2	8.8	0.4

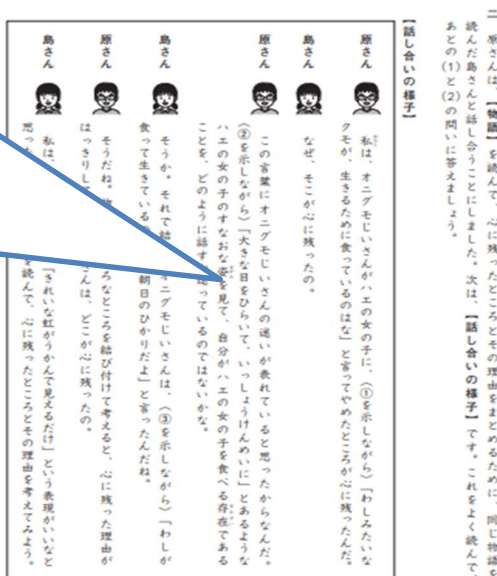
海老名市の結果についての分析

- 平均正答率、平均正答数を見ると、全国とほとんど差がなく、差がおよそ-0.5 ポイントです。
- 平均正答率が全国を上回った問題は、14 問中7問でした。
- 無解答率が全国平均よりも高いのは 14 問中 12 問で、全設問をとおして無解答率の高さが課題です。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の無解答率は 10%を超えています。全国的にも課題は同じで、漢字を正しく書くことについては、継続した指導が必要です。

全国の正答率と差が見られた問題の例

小学校国語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

（前略）この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。（中略）自分がハエの女の子を食べる存在であることを、どのように話すか……



3二(2) 【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

趣旨 人物像を具体的に想像することができるかどうかを見る。

正答 登場人物の気持ちや考え方

◇この問題の正答率

海老名市	69.1%
全国（公立）	72.5%
（全国との比較）	-3.4%

考察

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方については、概ね理解しています。
- ある程度の分量やまとまりのある文章を、最後まで読み切り、内容の大体を捉えたりすることや表現の効果を讀み取ったりすることに課題があります。

指導の改善にむけて

◆漢字を文の中で正しく使うことができるように

- パターン練習(スキルや漢字ノート)だけではなく、文や文章の中で正しく漢字を使う習慣を身につけられるよう、意図的に活用する場面を設けるようにします。

◆「表現の効果」や「物語のよさ」を見付けられるように

- ある程度の分量やまとまりの文章を読み、物語の全体像や人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする指導を充実させます。
- 児童の読書の状況を見取り、児童が交流しながら「物語のよさ」を見付けることができるよう、読書活動を充実させます。